



みなさん、シーニック・バイウェイという言葉を知っていますか？ シーニック・バイウェイとは、アメリカが発祥で景観のよい(シーニック)、寄り道(バイウェイ)という意味です。日本では、風景街道と訳され、道を通して地域活性化や観光振興に取り組んでいる124のルートがあります。

本誌では、九州風景街道の一つ「日豊海岸シーニック・バイウェイ(蒲江・北浦大漁海道)」の活動や旬の地域資源等について、地域の皆さんや道路利用者の方々にご紹介するものです。＝平成24年も「蒲江・北浦大漁海道だより」をよろしくお願ひします。＝

今月のシーニック・バイウェイ



日豊海岸と建設中の東九州自動車道

この写真は、県境付近に位置する「陣が峰展望台」から蒲江方向を撮った写真です。手前に見えるのが、建設が進む東九州自動車道の波当津IC付近で、その奥には波当津海岸が見えます。

地域資源（宝）の紹介コーナー

このコーナーでは、日豊海岸シーニック・バイウェイエリアの旬の地域資源（宝）等を紹介します



地域で活動する人



◆甲斐 寿夫（ひさお）さん（一口あわび養殖グループ代表）

延岡市の浦城湾と須美江湾は、海の透明度が高く、昔から天然のアワビが多くとれる場所でしたが、エサの海草が減り、アワビの水揚げ量が減ってしまいました。そこで、甲斐寿夫さんら延岡市漁協のアワビ生産グループが、平成15年秋からアワビの生育に適した環境を利用して、一口アワビの養殖試験をスタート、平成21年4月には宮崎県の水産ブランドの認定を受けるまでになりました。漁協では、今後も地域産業の活性化に寄与するため、一口アワビの生産体制拡大を図って行かれるそうです。



● 甲斐 寿夫さん

《食》 宮崎一口あわび



「宮崎一口あわび”浦の恵”」は、延岡市南浦周辺海域の静かな入り江で、良質な海草のみを飼料とし、およそ半年～2年間飼育して5cm以上～10cm未満のサイズで出荷します。小さいため、生で食べても火を通して肉質が適度にやわらかく甘みがあるのが特徴です。12月から3月くらいまでが旬です。

※写真は、宮崎県水産ブランド品第8号に認定された「宮崎一口あわび”浦の恵”」です。



歴史・文化資源

今回は、佐伯と延岡の歴史的な繋がりを発見!!



東光寺の八日薬師

◆東光寺の八日薬師祭（大分県佐伯市蒲江）

東光寺本堂に隣接する薬師堂には、応永13年（1406年）に西野浦の海中から引き揚げられたと伝えられる薬師如来像が安置されています。薬師如来は近隣の漁師たちに「海の守護仏」として信仰が厚く、毎年1月8日の八日薬師祭には多くの参拝者で賑わいます。昔は、延岡方面からの参拝魚船で港がいっぱいになったようです。

◆尾高智（おたち）神社（宮崎県延岡市北浦）

尾高智神社は、大分県佐伯市の柁牟礼城（とがむれじょう）城主、佐伯惟治（これをはる）を祭る神社で、佐伯を追われた惟治公が尾高智山中腹で自害したとされ、その胴体を葬ったと伝えられる墓があります。また、延岡市北川町の「御頭（おとう）神社」には、惟治公の首級（しゅきゅう）を葬ったと伝えられる墓があります。惟治公を祭る神社は、延岡市、佐伯市をあわせて30社余りあり古くから両市の繋がりが伺えます。

尾高智神社では、毎年正月第三日曜日に例祭が行われ、多くの参拝者が訪れます。



↑ 町指定文化財の「尾高智神社」
← 佐伯惟治（1494～1527）の墓



食



「モイカ」の刺身



モイカ干しの風景

◆モイカ(アオリイカ)

モイカは、冬のイカの王様で新鮮な刺身は肉厚で甘味が濃く美味しい一品です。また、一夜干しもあり、ご飯のおかずにお酒のつまみにおすすめです。

津久見市では、1月31日まで「津久見モイカフェスタ」を開催しています。



自然・景観資源



◆背平山(せびらやま)(大分県佐伯市蒲江)



いやしの絶景・背平山より屋形島を望む

背平山は、佐伯市蒲江浦の東に位置し、標高392mの蒲江を象徴する里山です。昭和30年代までは山の中腹まで段々畑が続き、当時の主食であったイモや麦が植えられていました。

山頂からは蒲江湾を一望でき、冬はツバキ、春には満開のツツジの花が見られます。



高山海岸から見た背平山

お知らせ

◆日本風景街道大学が開催されます◆

平成24年1月21日(土)～22日(日)、於:宮崎市【宮崎大学】

※詳しくは、「日南海岸きらめきライン」のホームページをご覧ください。
<http://www.kirameki-line.com/>



活動報告

11月13日(日)、たかひら展望公園で「第12回のじぎく祭り」が開催されました。

今年は管理者の大変な努力により、近年まれにないのじぎくが咲きました。また、当日は晴天にも恵まれ、多くの方が秋の蒲江の風物詩を楽しみました。



サイクリングロード沿いに咲く「のじぎく」



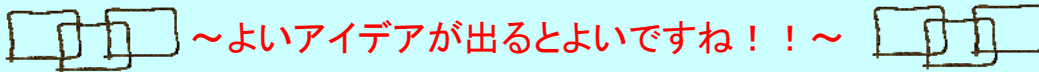
活動報告

◆ちえのわ会議、始動中！

大分県や佐伯市の若手職員で構成する『県南ちえのわ会議』では、東九州自動車道の全線開通に向け、インターチェンジ(以下、IC)が設置される地区を中心とする住民の皆様と、IC開通後の地域のあり方について検討しています。例えば、波当津地区では、地区全体で「自然環境を活かした癒しのサービスエリア」はどうだろうか？など、活発な意見が出ており、区長さんを中心に‘地区の良いところの掘り起こし’や‘環境の保全’について勉強中です。10月には、熊本の阿蘇市、西原村に農村民泊等の先進地視察に行きました。



波当津地区の勉強会の様子



～よいアイデアが出るとよいですね！！～

◆九州風景街道ルート代表者会議が開催されました。



[九州内の10ルート]

九州には、左図のとおり、「蒲江・北浦大漁海道」をはじめ10の風景街道ルートがあります。

12月12日、福岡市において九州風景街道ルート代表者会議が開催され、先進地の北海道における取り組み事例紹介や各ルートの取り組み、課題などについて報告がありました。

宮崎県の日南海岸きらめきラインでは、平成24年1月21日～22日に『日本風景街道大学』を開催する予定です。(3ページに関連記事)

東九州自動車道建設情報



早期開通をめざして「スローガン」を設置！

佐伯河川国道事務所では、東九州自動車道「蒲江IC～県境間」について平成24年度の供用を目標に急ピッチで工事を進めています。

今回、波当津地区の現場では、工事業者さん8社が供用に向け、関係者と一丸となるため「めざせ!! そうきかいつう」のスローガンを記載した看板を設置しました。地域の方のご協力をお願いします。



東九州自動車道(佐伯～北川間)の工事進捗状況写真が下記URLでご覧いただけます。

佐伯～県境間URL: <http://www.qsr.mlit.go.jp/saiki/higashisnchoku/higasikyuuushuu.html>

県境～北川間URL: <http://www.qsr.mlit.go.jp/nobeoka/douro/higasikyushu/index.html>

◆ 日豊海岸シーニック・バイウェイ(蒲江・北浦大漁海道)のホームページ ◆

URL: <http://kyushu1-saiki.sakura.ne.jp/nippou-kaigan/nippoukaigan.html>

皆様からの情報提供をお待ちしております。

問い合わせ先

日豊海岸シーニック・バイウェイ研究会

〒876-0831 大分県佐伯市大手町2丁目3番8号(佐伯市観光協会内)

tel 0972-23-1101 fax 0972-23-1146

(行政側問い合わせ先)

佐伯河川国道事務所 調査第二課
tel 0972-22-1880 fax 0972-23-2726

延岡河川国道事務所 調査第二課
tel 0982-31-1155 fax 0982-22-0489